



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月13日

上場会社名 新日本理化株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4406 URL <https://www.nj-chem.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 三浦 芳樹
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画管理本部長 (氏名) 盛田 賀容子 TEL 06-6202-6598
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	24,437	△8.9	287	△32.8	706	△0.2	501	9.0
2020年3月期	26,839	△6.3	428	△28.9	707	△11.1	460	△19.8

(注) 包括利益 2021年3月期 1,751百万円 (－%) 2020年3月期 △138百万円 (－%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	13.46	—	3.5	2.1	1.2
2020年3月期	12.35	—	3.4	2.1	1.6

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 244百万円 2020年3月期 150百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	35,886	16,216	42.4	407.87
2020年3月期	32,756	14,595	41.6	365.29

(参考) 自己資本 2021年3月期 15,207百万円 2020年3月期 13,620百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	1,253	△1,707	519	2,988
2020年3月期	1,821	△624	△619	2,921

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00	111	24.3	0.8
2021年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00	111	22.3	0.8
2022年3月期 (予想)	—	0.00	—	3.00	3.00		18.6	

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	12.5	700	143.1	900	27.5	600	19.6	16.09

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年3月期	37,286,906株	2020年3月期	37,286,906株
2021年3月期	1,835株	2020年3月期	1,214株
2021年3月期	37,285,404株	2020年3月期	37,286,015株

(参考) 個別業績の概要

2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	20,912	△10.1	104	△51.7	432	11.0	348	22.5
2020年3月期	23,272	△7.7	216	△39.6	389	△20.6	284	10.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	9.36	—
2020年3月期	7.64	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	29,905	12,708	42.5	340.86
2020年3月期	27,000	11,384	42.2	305.34

(参考) 自己資本 2021年3月期 12,708百万円 2020年3月期 11,384百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11
4. その他	12
(1) 役員の変動	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、限定的な経済活動を強いられるなど厳しい状況にありました。わが国経済も、緊急事態宣言が断続的に発令されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当連結会計年度における当社グループを取り巻く業界動向として、住設関連は住宅着工件数の減少を受け低調に推移いたしました。また、生活産業関連においては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う移動制限の影響により、観光および衣料分野での需要低迷がみられました。他方、自動車関連においては、世界的な都市封鎖の影響を受け、一時は生産・販売活動が落ち込んだものの、夏以降は回復基調へと転じました。

このような環境のなか、当社グループにおきましては、製品の供給責任を果たすべく、在宅勤務や時差出勤の活用など感染予防対策を徹底した上で事業活動の維持に努めました。また、厳しい事業環境に対応するためコスト削減に注力する一方、将来を見据えて必要と判断する投資は積極的に実行しました。

この結果、当連結会計年度における当社グループの売上高は、244億3千7百万円（前期比8.9%減）となり、損益面では、営業利益2億8千7百万円（前期比32.8%減）、経常利益7億6百万円（前期比0.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は5億1百万円（前期比9.0%増）となりました。

主要製品の概況は次のとおりであります。

生活産業関連向け製品においては、アメニティー向け界面活性剤および繊維油剤向けアルコールの需要が落ち込んだものの、食品・医薬向け添加剤および日用品向けの結晶核剤が堅調に推移し、販売数量、売上高とも前年並みとなりました。

住設関連向け製品においては、住宅着工件数の減少により、壁紙や床材、電線を主要用途とする可塑剤の販売が大きく落ち込み、売上高は前年を大幅に下回りました。

自動車産業向け製品においては、タイヤ向け脂肪酸、自動車塗料向けの樹脂原料などが自動車業界の回復とともに販売数量を大きく伸ばしましたが、上期の低迷の影響が大きく、売上高は前年を下回りました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は前期末比9.6%増、金額で31億3千万円増加の358億8千6百万円となりました。

流動資産につきましては、受取手形及び売掛金が増加した影響などにより前期末比0.7%増、金額で1億2千万円増加の164億4千9百万円となりました。固定資産につきましては、京都R&Dセンターの建設および投資有価証券について時価が高騰したことなどにより前期末比18.3%増、金額で30億1千万円増加の194億3千7百万円となりました。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金が増加したことなどにより前期末比4.9%増、金額で5億4千4百万円増加の116億1千3百万円となりました。固定負債につきましては、長期借入金が増加したことなどにより前期末比13.6%増、金額で9億6千5百万円増加の80億5千7百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金が増加したことなどにより前期末比11.1%増、金額で16億2千万円増加の162億1千6百万円となりました。

この結果、当連結会計年度末の自己資本比率は42.4%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ、6千7百万円増加し、29億8千8百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、資金は12億5千3百万円増加（前期は18億2千1百万円増加）しました。これは主に、税金等調整前当期純利益の増加6億8千万円、減価償却費の減少6億3千1百万円、売上債権の増加5億5千6百万円及びたな卸資産の減少6億1千万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、資金は17億7百万円減少（前期は6億2千4百万円減少）しました。これは主に、有形固定資産の取得による支出19億3千2百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、資金は5億1千9百万円増加（前期は6億1千9百万円減少）しました。これは主に、短期借入金の増加4億円によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の経済情勢につきましては、新型コロナウイルス感染症ワクチンの普及に伴い、経済活動の制限が段階的に解除され、景気は緩やかながら回復へ向かうことが期待されます。しかしながら、同感染症の終息時期を予測することは困難であり、当社をとりまく事業環境は引き続き厳しい状況が続くと想定しております。

このような状況のなか、当社グループでは、2030年に向けた経営ビジョン「Be the best SPICE!～心躍る極上のスパイスになる～」の達成に向けて新たに策定し公表しました中期経営計画（2022年3月期～2026年3月期）に基づく事業戦略を着実に実行してまいります。計画の初年度にあたる2021年度（2022年3月期）は、今年5月末に稼働する「京都R&Dセンター」を拠点に、高付加価値製品の開発および早期上市を目指すほか、既存事業のスクラップ&ビルドに着手し事業ポートフォリオの最適化を図ります。さらに、CSRの推進や組織文化の変革、財務状態の適正化を進め、企業価値の持続的な向上を目指してまいります。

これにより、2022年3月期の通期連結業績につきましては、売上高275億円、営業利益7億円、経常利益9億円、親会社株主に帰属する当期純利益6億円を見込んでおります。なお、当該業績予想は新型コロナウイルス感染症による経済活動への影響がある程度改善することを想定したものであり、当該影響が想定以上に深刻化することなどにより、今後、開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,070	3,148
受取手形及び売掛金	8,724	9,281
商品及び製品	2,109	1,913
仕掛品	1,246	1,004
原材料及び貯蔵品	999	853
その他	179	251
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	16,328	16,449
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,379	1,284
機械装置及び運搬具(純額)	1,944	1,694
土地	4,281	4,281
リース資産(純額)	6	9
建設仮勘定	1,140	2,599
その他(純額)	221	236
有形固定資産合計	8,974	10,105
無形固定資産	56	46
投資その他の資産		
投資有価証券	6,879	8,513
長期貸付金	192	181
退職給付に係る資産	223	342
その他	101	249
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	7,396	9,285
固定資産合計	16,427	19,437
資産合計	32,756	35,886

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,474	4,926
短期借入金	2,386	2,786
1年内返済予定の長期借入金	2,066	1,819
未払法人税等	103	73
賞与引当金	244	238
その他	1,792	1,769
流動負債合計	11,068	11,613
固定負債		
長期借入金	3,808	4,309
繰延税金負債	1,064	1,612
役員退職慰労引当金	75	77
退職給付に係る負債	1,820	1,850
その他	323	207
固定負債合計	7,091	8,057
負債合計	18,160	19,670
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,660	5,660
資本剰余金	4,075	4,075
利益剰余金	3,337	3,727
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,074	13,463
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,167	2,304
為替換算調整勘定	△574	△579
退職給付に係る調整累計額	△46	18
その他の包括利益累計額合計	546	1,743
非支配株主持分	975	1,008
純資産合計	14,595	16,216
負債純資産合計	32,756	35,886

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	26,839	24,437
売上原価	22,029	19,879
売上総利益	4,809	4,557
販売費及び一般管理費	4,381	4,269
営業利益	428	287
営業外収益		
受取利息	7	5
受取配当金	143	133
持分法による投資利益	150	244
為替差益	—	1
その他	39	87
営業外収益合計	340	473
営業外費用		
支払利息	43	42
為替差損	6	—
その他	11	13
営業外費用合計	61	55
経常利益	707	706
特別利益		
投資有価証券売却益	—	162
特別利益合計	—	162
特別損失		
固定資産除却損	9	18
減損損失	36	169
投資有価証券評価損	19	—
特別損失合計	66	187
税金等調整前当期純利益	641	680
法人税、住民税及び事業税	100	116
法人税等調整額	16	10
法人税等合計	117	126
当期純利益	524	553
非支配株主に帰属する当期純利益	63	52
親会社株主に帰属する当期純利益	460	501

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	524	553
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△669	1,138
為替換算調整勘定	△8	10
退職給付に係る調整額	0	64
持分法適用会社に対する持分相当額	14	△15
その他の包括利益合計	△662	1,198
包括利益	△138	1,751
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△201	1,699
非支配株主に係る包括利益	63	52

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	5,660	4,246	2,877	△171	12,613	1,836	△580	△47	1,208	929	14,751
当期変動額											
親会社株主に帰属する当期純利益			460		460						460
自己株式の取得				△0	△0						△0
自己株式の消却		△170		170	—						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△669	6	0	△661	45	△616
当期変動額合計	—	△170	460	170	460	△669	6	0	△661	45	△155
当期末残高	5,660	4,075	3,337	△0	13,074	1,167	△574	△46	546	975	14,595

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	5,660	4,075	3,337	△0	13,074	1,167	△574	△46	546	975	14,595
当期変動額											
剰余金の配当			△111		△111						△111
親会社株主に帰属する当期純利益			501		501						501
自己株式の取得				△0	△0						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						1,137	△5	64	1,197	33	1,230
当期変動額合計	—	—	389	△0	389	1,137	△5	64	1,197	33	1,620
当期末残高	5,660	4,075	3,727	△0	13,463	2,304	△579	18	1,743	1,008	16,216

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	641	680
減価償却費	661	631
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14	△6
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7	1
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	39	△86
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△9	95
受取利息及び受取配当金	△151	△138
支払利息	43	42
持分法による投資損益 (△は益)	△150	△244
固定資産除却損	9	18
減損損失	36	169
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△162
投資有価証券評価損益 (△は益)	19	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,786	△556
たな卸資産の増減額 (△は増加)	206	610
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,113	452
その他	△241	△352
小計	1,768	1,153
利息及び配当金の受取額	189	299
利息の支払額	△44	△42
法人税等の支払額	△92	△156
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,821	1,253
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△17	△1
有形固定資産の取得による支出	△691	△1,932
無形固定資産の取得による支出	△19	△1
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	—	232
貸付けによる支出	△2	—
貸付金の回収による収入	109	11
その他	△0	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△624	△1,707

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△403	400
長期借入れによる収入	1,600	2,600
長期借入金の返済による支出	△1,794	△2,346
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3	△3
配当金の支払額	—	△110
非支配株主への配当金の支払額	△17	△19
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△619	519
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	574	67
現金及び現金同等物の期首残高	2,347	2,921
現金及び現金同等物の期末残高	2,921	2,988

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、化学製品の製造販売を主な事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	365円29銭	407円87銭
1株当たり当期純利益	12円35銭	13円46銭

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式がないため記載しておりません。

(1) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	460	501
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	460	501
普通株式の期中平均株式数 (千株)	37,286	37,285

(2) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	14,595	16,216
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	975	1,008
(うち非支配株主持分 (百万円))	(975)	(1,008)
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	13,620	15,207
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通 株式の数 (千株)	37,285	37,285

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

役員の変動につきましては、2021年5月13日に開示しております「役員人事に関するお知らせ」を参照ください。